

## 「日本がん治療認定医制度報告会：到達点と展望」 開催のお知らせ

“より良い治療をいち早く”、わが国のがん医療の質を高めるため、さまざまな角度から多くの試みが続けられています。その重要な課題のひとつに、「がんの専門医」の育成があります。

安心してかかれるがん診療医を育てる、また、そうした医師をだれもが簡単に探すことのできる制度を確立する、その実現を目指して日本がん治療認定医機構が発足して3年目となります。この間、3回の認定医試験、資格審査を経て、すでに5,962名の「がん治療認定医」が誕生しました。このままで推移すれば「がん治療認定医」の総数は、2015年には24,000名強となります。2015年には、一人の医師が年間100人のがん患者さんを診るとして少なくとも25,000名のがん診療医が必要と予測されていますが、まさにその数を満たすものとなります。

「がん治療認定医」とは、**がん治療の共通基盤となる臨床腫瘍学の知識およびその実践を支える基本的技術を有する医師**と定義されており、「**患者さんの身近にいるがんの総合診療医**」ということができると思います。この認定制度の到達目標は、**がん医療全般に対して正確な医療情報を与えられること、各領域の専門医と連携し求められるがん医療を確実に実践する、あるいは医療チームの一員として適切なバトンリレーができること**、にあります。その研修プログラムは、米国やヨーロッパをはじめ、多くの国々で用いられている“臨床腫瘍学グローバル・コア・カリキュラム”を基準としており、資格の習得に際しては自分の専門領域だけでなく、他の診療科の最新知識をも吸収することが必須となっています。

この制度は、日本医学会の「がんの専門医制度に関し、認定医と専門医の2段階制とする」との提言のもと、がん患者団体との討議も含め、多くの議論を経て発足したわが国独自のがん診療医の認定制度です。また、その認定組織も多くの専門医制度とは少なからず異なります。単独の学会ではなく、日本癌治療学会、日本癌学会、日本臨床腫瘍学会、全国がん（成人病）センター協議会から推薦された理事を中心に構成され、「がん治療認定医」の認定に関わる業務のみを遂行しています。

しかしながら、まだ発足から日が浅く、この制度が広く一般に浸透しているとは言えません。専門医を育てるには時間がかかります。国民全体に広く理解され、受け入れられてはじめての認定制度です。がん治療認定医制度とはどのようなものなのか、がん診療医の育成が今どのようにして進んでいるのか、直面している問題点はなにか、などについて正確にご理解いただき、また、今後どのように進めていくべきかをともに考え、今後につなげていくために、今回の報告会を企画いたしました。

残念ながら、会場の座席数が限られているため、参加人数を限定せざるをえない状況ですが、貴会関係者の皆様にご広報願えれば幸いです。

2009年8月吉日

一般社団法人日本がん治療認定医機構  
理事長 今井浩三

## 日本がん治療認定医制度報告会：到達点と展望

日 時： 2009年10月17日（土）午後2時から5時（開場：午後1時30分）  
場 所： 国立がんセンター国際研究交流会館（中央区築地5-1-1）  
主 催： 日本がん治療認定医機構  
共 催： 日本医学会  
後 援： 厚生労働省（予定）、 文部科学省  
定 員： 180名（先着順申込受付）  
問合せ先： 日本がん治療認定医機構 事務局 担当：皆川  
Tel: 03-5361-7105 Fax: 03-5361-7091 E-mail: c-info@imic.or.jp  
URL: <http://www.jbct.jp/index.html>

ご挨拶 日本がん治療認定医機構 理事長 今井 浩三

### I部 本邦におけるがんの専門医の育成（基調講演）

司会 日本がん治療認定医機構 理事長 今井 浩三

1. 日本医学会からの提言  
日本医学会 会長 高久 史麿 (20分)
2. がん対策基本法施行から2年  
前厚生労働省総務課がん対策推進室 室長 前田 光哉 (20分)
3. 「がんプロフェッショナル養成プラン」の現状と展望  
文部科学省高等教育局医学教育課 課長 新木 一弘 (20分)
4. がん治療認定医制度  
日本がん治療認定医機構 理事・教育委員会委員長 西山 正彦 (20分)

### II部 がん治療認定医制度への要望（基調講演）

司会 日本がん治療認定医機構 副理事長 土屋 了介

1. がん治療認定医の立場から  
広島大学大学院医歯薬学総合研究科 脳神経外科学 杉山 一彦 (15分)
2. 患者・家族の立場から  
キャンサーネットジャパン 理事 柳澤 昭浩 (15分)
3. 報道の立場から  
読売新聞編集局社会保障部 記者 本田 麻由美 (15分)

### III部 総合討論（演者全員参加）

司会 日本がん治療認定医機構 理事長 今井 浩三  
副理事長 土屋 了介

以上

**お申込方法**

- (1) ご参加ご希望の方は、下記申込書にご記入の上、日本がん治療認定医機構事務局まで FAX : 03-5361-7091 または、E-mail : c-info@imic.or.jpにご送付ください。  
 (定員まで先着順に受け付けさせていただきます。1枚につき1名まで。)
- (2) お席をご用意できました方には、後日、E-mailにてご連絡いたしますので、メールアドレスをお間違いなくご記入くださいますようお願いいたします。  
 なお、メールアドレスをお持ちでない場合は、他のご連絡方法を【備考】欄にご記入ください。

**参加申込書**

(ふりがな)  お名前		性別  男 女	年齢  才
ご連絡先	住所 〒                   —  電話番号                   (                   ) FAX 番号                   (                   ) E-mail (必須)		
ご所属団体名  (あれば)			
この報告会をどのような手段でお知りになりましたか。			
【備考】			